

「Airer気流システム サンシェード」

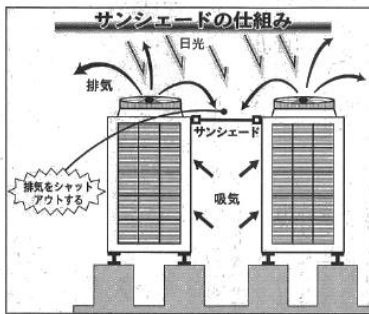
エアコン室外機の遮熱シートを開発

オーバーヒート防止し消費電力も抑制

札幌のデータセンターなど採用

ヤブシタ(本社・函館)は、エアコン室外機の背面側に取り付けられる機構のオーバーヒート防止や消費電力の抑制につながる「Airer気流システム サンシェード」を開発した。室外機周辺の空気の温度をコントロールすることで、効率的な吸排気を実現する。道内では札幌市内のデータセンターで採用されたほか、名古屋市内の損害保険会社ビルでも設置を予定している。

ヤブシタ



遮光率に優れたポリエーとを並列する室外機の間
チレン製のメッシュシートに取り付けることで、直

射日光を遮りながら機器自体が熱くならないよう保護する。シートは日本ワイドクロス(本社・大阪府柏原市)の折板屋根用を応用。表面をステンレス薄膜で加工し、遮熱・耐候性のほか、伸縮性も持っている。

排気口から出た空気が吸気側へ循環してしまうシヨートサーキットを防止、換気効率の改善にも効果を発揮する。熱負荷が掛かったまま機器が無理に運転することはなく、消費電力の低減にも寄与する。

安全装置の作動によってエアコンの運転が強制的に止まる高圧カットも防止。従来の対策品だった放水装置を設けずに済み、導入費や冷水などの

ランニングコストを抑えられる。

同社の子機を使った実験では、サンシェード無しの場合、表面温度が60.3度だったのに対し、設置した場合は36.5度と約40%の日照効果を確保した。札幌市内で実施

したフィールド試験では、サンシェード取り付けの有無で吸込み側の周囲温度を5.6度抑えられることも分かった。

価格は1枚当たり3万9800円(税込み、室外機間の距離が1mの場合、設置は1枚)。センターを1台は、病院やオフィビルでの採用を目指している。

のデータセンタービルで、16台を納め、今後は名古屋市内の損害保険会社ビル200台を納入を予定している。

森田社長は「シヨートサーキット対策も設置条件が緩和されるため、これまでよりも導入の幅は広がる」と期待を寄せている。

問い合わせは同社札幌支店、電話011-822-0505まで。

導入第一号は札幌市内

のデータセンタービルで、16台を納め、今後は名古屋市内の損害保険会社ビル200台を納入を予定している。

森田社長は「シヨートサーキット対策も設置条件が緩和されるため、これまでよりも導入の幅は広がる」と期待を寄せている。

問い合わせは同社札幌支店、電話011-822-0505まで。